

2020年10月21日

「2020年7～9月期業況アンケート調査」結果  
(2020年10月調査)

全産業の景況感は7期ぶりに改善、  
非製造業の見通しは慎重

照会先 一般財団法人 長野経済研究所  
調査部（担当：桑井、中村）  
電話 026-224-0501



## 全産業の景況感は7期ぶりに改善、非製造業の見通しは慎重

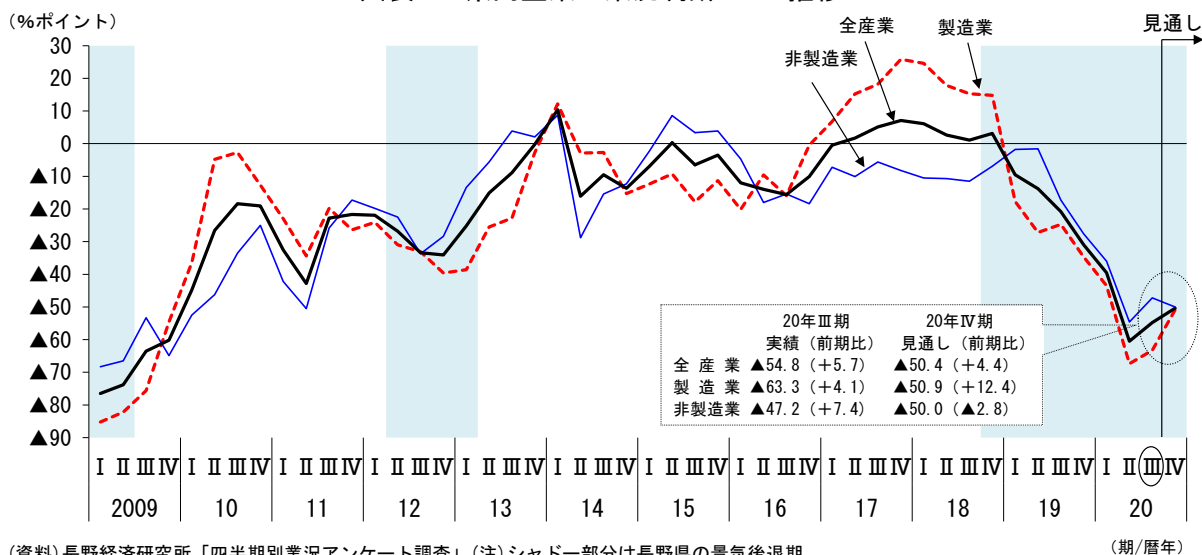
### ○ 業況判断DIは、製造業で改善見通し

- 2020年7~9月期の県内企業の業況判断DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△54.8と前期より5.7ポイント上昇し、7期ぶりに改善した（図表1）。前回調査（20年4~6月期）では、今期は△63.7へ悪化する見通しだったが、実績は水面下ながら改善した。
- 業種別では、製造業が△63.3と前期の実績に比べ4.1ポイント改善し、非製造業も△47.2と同7.4ポイント改善した。製造業は前回見通し（△69.6）を4期ぶりに上回り、非製造業も前回見通し（△58.8）を5期ぶりに上回った。
- 20年10~12月期は、全産業が△50.4と今期に比べ4.4ポイント改善する見通し。このうち製造業は同+12.4ポイントの△50.9と改善が続く一方、非製造業は△50.0と同2.8ポイント悪化する見通し。
- 20年7~9月期の売上高、経常利益は、製造業、非製造業ともに前期に比べ減少幅は縮小したが、見通しは引き続き厳しい状況が予想される（図表2、3）。
- 雇用の過不足状況を示す雇用水準DI（「過剰」割合－「不足」割合）は、非製造業は引き続き不足感を示すが、製造業は3期連続で過剰超となり、全産業でも2期連続の過剰超となった（図表4）。設備の過不足状況を示す設備水準DI（「過剰」割合－「不足」割合）は、製造業が6期連続で過剰超となった一方、非製造業はほぼ適正水準となっている（図表5）。

### ○ 今回調査のポイント

- 20年7~9月期の製造業は、新型コロナの感染拡大の影響により需要は低調に推移したが、経済活動が徐々に再開されたことで最悪期からは脱したとみられる。また、非製造業も、移動自粛が緩和されたことなどから水面下ながら景況感が改善した。
- 20年10~12月期の製造業は、新型コロナの影響が続くものの、自動車関連で持ち直しの動きもあり、景況感は低水準ながら引き続き改善する見通し。非製造業は、設備投資需要の減少で建設業や機械関連業種で景況感が下振れするほか、厳しい状況にある観光関連も景況感悪化が続く見通し。
- 今後は、経済活動の再開が進む中で製造業は海外の需要動向、非製造業は国内でのコロナ感染に対する不安感の解消がポイントになるろう。

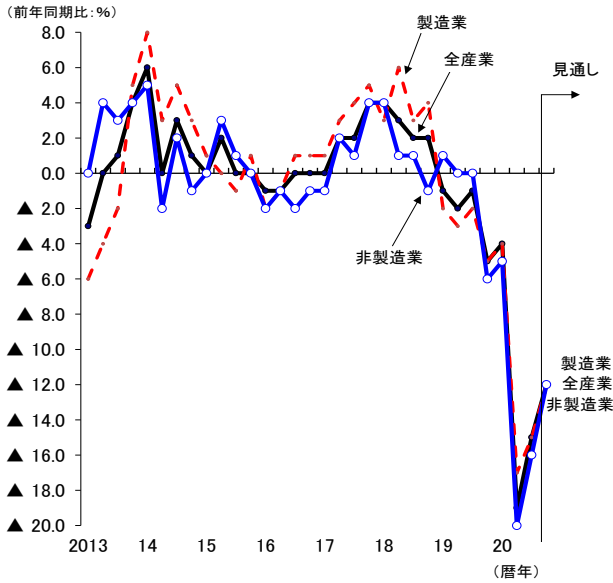
図表1 県内企業の業況判断DIの推移



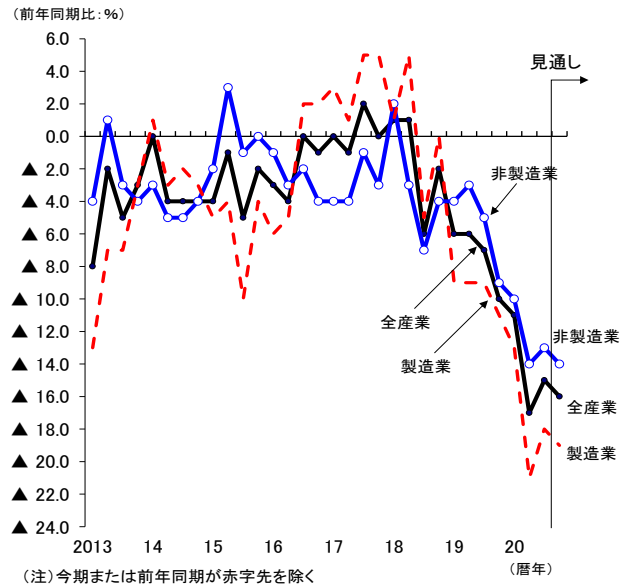
(資料)長野経済研究所「四半期別業況アンケート調査」(注)シャド一部分は長野県の景気後退期

(期/暦年)

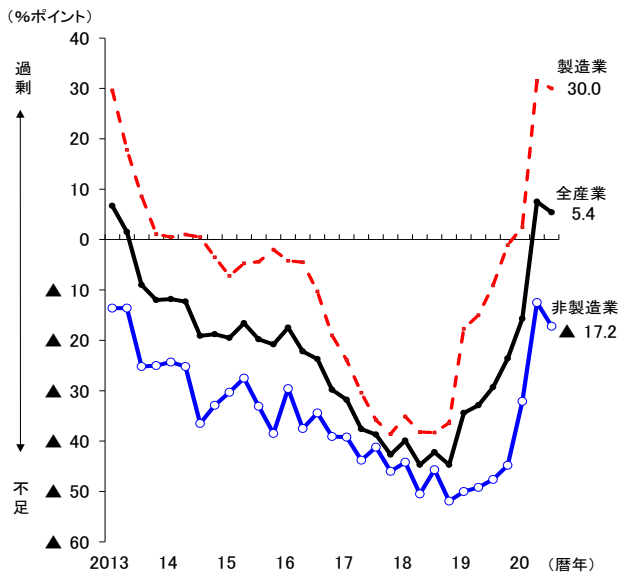
図表2 売上高の推移（前年同期比）



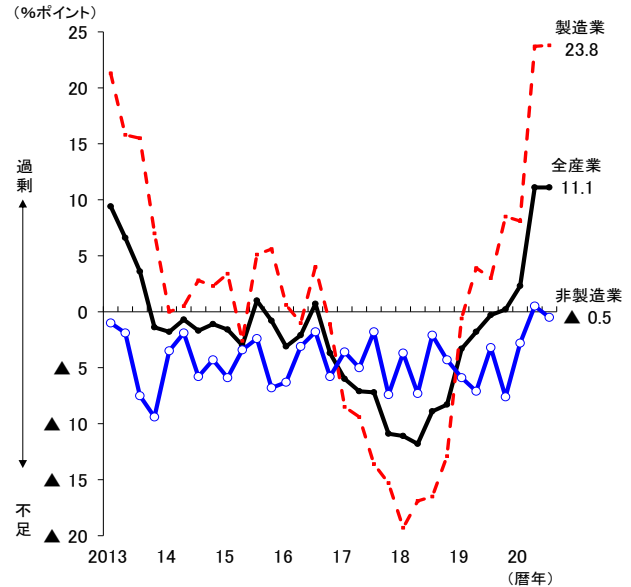
図表3 経常利益の推移（前年同期比）



図表4 雇用水準DIの推移



図表5 設備水準DIの推移



■調査概要

企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期比により比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

調査対象期・実施時期・為替レート

対象期 2020年7～9月期、見通し20年10～12月期  
実施時期 20年9月中旬～10月上旬調査  
平均為替レート 20年7～9月：106.15円/\$（4～6月：107.59円/\$）

■対象 県内企業・事業所 654社、右表参照

業種別対象先数及び回答先数

		製造	卸・小売	建設	サービス	合計
合計	対象先数	278	151	78	147	654
	回答先数	177	75	44	74	370
回答率（％）		63.7	49.7	56.4	50.3	56.6

回答企業の業種別構成比（単位：％）



<各DIの推移>

□ 業況判断DI

(回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種	2019年 7~9月	10~12月	2020年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
全産業	▲20.8	▲31.0	▲39.5	▲60.5	▲54.8 (▲63.7)	▲50.4
製造業	▲24.7	▲34.7	▲43.5	▲67.4	▲63.3 (▲69.6)	▲50.9
非製造業	▲17.3	▲27.6	▲36.0	▲54.6	▲47.2 (▲58.8)	▲50.0

※括弧内は前回見直し

□ 雇用水準判断DI

(回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種	2019年 7~9月	10~12月	2020年 1~3月	4~6月	7~9月
全産業	▲29.3	▲23.6	▲15.7	7.5	5.4
製造業	▲9.1	▲1.1	2.5	31.5	30.0
非製造業	▲47.6	▲44.8	▲32.1	▲12.5	▲17.2

□ 設備水準判断DI

(回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種	2019年 7~9月	10~12月	2020年 1~3月	4~6月	7~9月
全産業	▲0.3	0.2	2.3	11.1	11.1
製造業	3.0	8.5	8.1	23.7	23.8
非製造業	▲3.2	▲7.6	▲2.8	0.5	▲0.5

□ 製造業の想定為替レート（平均）

	2020年度上期	2020年度下期
ドル円	107.20円 (107.00円)	106.52円 (105.00円)
ユーロ円	121.77円 (120.10円)	121.43円 (120.00円)

※下段の括弧内は中央値

以上